

書(御返歌)

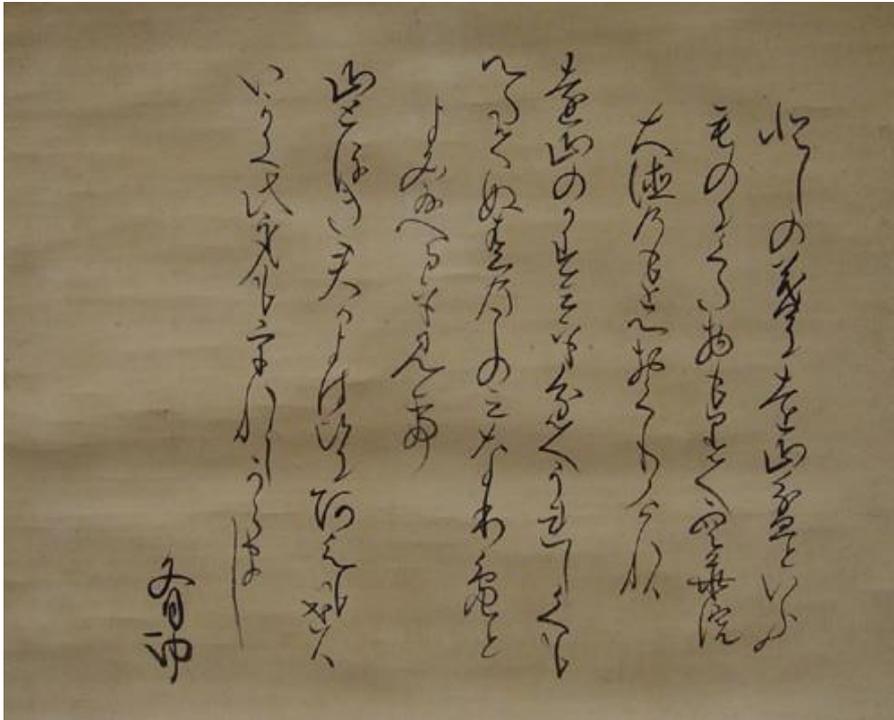
制作年：江戸後期

サイズ：34.3×41.5cm

材質：紙本墨書

所蔵：中津市木村記念美術館

千種有功



とこの華に遠山散りて
ものにくだ物もりて善華院
大徳のもくとちりけれ
遠山のかすみを公でうれしくも
へたてぬ口のたのみなり口と
よみ玉へるを見て
山と花はもてかたはのこめえもせは
いかに此身もうれしからまし
有功

巻止：墨書「千種口遠山口御返歌」「枳東園什」

画面左：墨書「心越書」

箱書：表「千種有功 御返歌」

裏「有條ノ子号千々廻口正三位権中納言/書八千流、又和歌及狂歌二モ巧也安政七年酉死五八才」

1996(平成8)年に中津市に寄贈

千種有功（ちぐさありこと、寛政9(1797)～安政元(1854)）は、江戸時代末期の歌人です。千々廻舎と号しました。左近衛権中将の位にあり、歌人香川景樹と交流を持ちました。歌集に「千々廻舎集」「日枝の百枝」などがあります。